

Title	ON時間OFF時間
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学工学部
Publication year	2023
Jtitle	新版 窮理図解 No.36 (2023. 1) ,p.6- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	慶應理工の科学技術社会論：より良い社会を目指した文理共創の試み 外国語・総合教育教室 見上公一 (准教授)
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000036-0006

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.



オックスフォード大学での大学院生活

素晴らしい大学ですが、学生がカレッジに所属することも魅力の1つです。所属したGreen Templeton Collegeは長い大学の歴史で初めて合併してできた新しいカレッジで、合併の際は学生会(Graduate Common Room)の会長として貴重な経験をさせていただきました。



海外とのつながりを大切に

3年を過ごした英国エジンバラ大学の研究仲間とは、日本に戻った後も一緒に研究をしています。科学技術社会論は日本ではまだマイナーな研究分野ですが、周りの研究者も巻き込みながら、お互いに刺激し合える関係を築いていこうと思っています。

見上公一の ON と OFF

素晴らしい経験を
未来へつなげる



尊敬する先生との出会い

指導教官のSteve Rayner先生は、研究者としてだけでなく、一人の人間としてもとても尊敬できる方でした。博士号を取得して数年経った後に家族を連れて挨拶に行った時はとても喜んでくれました。残念ながら2020年に亡くなられたのですが、大きな目標としていつまでもその背中を追っています。

サッカーは世界の共通語？

決してうまくないのですが、今でもサッカーを続けています。まだ英語力がなかった頃は、サッカーを通じてできた仲間とのコミュニケーションから学ぶことも多くありました。最近は息子と一緒にボールを蹴ったりもしています。どこにいても楽しめるように、うまくなってもらいたいですね。



大切な家族との海外生活

エジンバラへは家族も連れていきました。日本ではなかなかできない経験もしたはずですが、子供たちはもうほとんど覚えていないようです。大きくなったら、自分の力で世界に羽ばたいてくれると嬉しいです。その時になったら、昔の写真を楽しんでくれるかもしれないですね。

